

将来ビジョン 「国際化」



- グローバル人材養成プログラムの整備充実
(南アジア・ASEANを中心とした地域における海外
オフィス・共同実験室の展開)
- 日本人学生と留学生の混在型教育の充実
- 海外協定大学とのJoint Degreeプログラム開始
- 多文化共生型による国際教養コースの設置
- 教員海外研修、事務職員海外実務研修の強化
- 留学生の就学・就職支援（インターンシップ）強化（東海コ
ンソーシアム化）
- 留学生ネットワークの整備
- 諸団体、他大学とのグローバル事業共同展開

リトアニア共和国大統領来日特別記念講演及び 名誉博士号授与式を開催

【概要】

令和元年10月24日（木）にギターナス・ナウセーダ リトアニア共和国大統領が特別に来学され、特別記念講演及び名誉博士号授与式を開催しました。

大統領は「即位礼正殿の儀」への出席のため来日され、24日（木）にはリトアニア共和国と交友関係の深い岐阜県に来岐されたことから、本学にて特別記念講演が実施されました。

大統領は学生・教職員約400人を前に、“Lithuania and Japan : The way forward”をテーマにして、リトアニアと日本の交流の歴史、文化、経済、今後の関係について講演されました。講演の最後には大統領から「今後もさらなる交流を深めていき、一度築いた関係が決して途絶えることがないように祈っています」と述べられました。

また、本学は様々な事業を通してリトアニア共和国との交流を活発に進めており、その中で大統領自ら講義されたことは本学の教育研究及び国際交流の推進に大きく寄与し、今後、本学とリトアニア共和国との関係強化を期待して、大統領に名誉博士号を授与しました。

今後、本学は現在学術交流協定を交わしているリトアニア共和国のカウナス工科大学、ヴィータウタス・マグヌス大学とのさらなる連携を推進し、岐阜県と協力してリトアニア共和国との交流を一層深めます。



名誉博士号授与の様子



会場の様子

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2019/10/25	岐阜	千畝氏が縁、一層交流 リトアニア大統領来岐 岐阜大で 会見 文化や観光など多面的に
2019/10/25	中日	千畝は「両国の重要な絆」 岐阜大 リトアニア大統領が 記念講演
2019/10/25	朝日	リトアニア大統領 杉原千畝記念館視察
2019/10/25	読売	リトアニア大統領 両国の友好発展願う 現職国家元首初 来県のビザ」原本閲覧
2019/10/25	毎日	リトアニア大統領 平和プレート除幕 「杉原の貢献 忘れ ず」

「地元企業との交流会」を開催

【概要】

本学グローバル推進機構は、令和元年11月27日（水）に留学生就職促進プログラムの一環として「地元企業との交流会」を岐阜信用金庫、朝日大学と共同開催しました。

本交流会は、日本での就職を希望している外国人留学生を対象に岐阜県内の企業を広く知ってもらうことを目的に、平成24年度から毎年度1回実施しており、今回で8回目の開催となります。生協第2食堂を会場とし、自動車部品、食品製造などグローバル展開をする地元企業12社とテストマーケティング（試食会）に参加した菓子メーカー3社がブースを出展し、60名の外国人留学生が参加しました。

今年度の新たな試みとして、本交流会で構築した外国人留学生と企業の繋がりを進展させるために外国人留学生及び企業向けインターンシップ相談窓口を設置しました。

参加した外国人留学生からは「大変良い経験となったので今後もこのような交流会に参加したいです」「就職活動にとっても役立つイベントだと思いました」などの感想がありました。

外国人留学生、企業ともに次の展開への期待が高まる交流会となりました。



地元企業から事業説明を聞く外国人留学生



テストマーケティングの様子

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2019/11/29	岐阜	外国人材マッチング 岐阜大など企業交流会 留学生60人参加
2019/11/29	中部経済	留学生との交流会で地元企業が事業説明 岐阜信金が開催

岐阜ジョイント・ディグリー・シンポジウム2020を開催

【概要】

令和2年12月8日（火）～9日（水），オンライン（Zoom）にて，岐阜ジョイント・ディグリー・シンポジウム2020を開催しました。昨年度に続き2回目となる本シンポジウムは，メインシンポジウムを東海国立大学機構（以下，東海機構）が，学術セッション及び産官学金連携セッションを岐阜大学グローバル推進機構が主催しました。

「ポストコロナ時代のジョイント・ディグリー～教育研究の国際化と地方創生～」をテーマとしたメインシンポジウムでは，伯井美德文部科学省高等教育局長によるポストコロナ時代の国際教育交流の現状と課題，それらを踏まえた施策，具体的事例等についての基調講演の他，本学が実施している4つのジョイント・ディグリープログラム（以下、JDPという）の現状と展望や，名古屋大学が実施するJDPについて講演が行われました。

講演の後，植松美彦グローバル推進機構長を座長としてディスカッションが行われ，その中でJDP設置大学等による協議会の設立の提案がなされ，佐藤邦明文部科学省高等教育局主任大学改革官からも全面的に協力したい旨の発言がありました。

閉会にあたり森脇久隆東海機構大学総括理事・副機構長から，協議会を立ち上げたうえで，文部科学省の支援を得ながら，JDPを日本に広げていくことで，先端的な国際交流の一端を担っていきたい旨の挨拶がありました。

学術セッションでは，小山博之グローバル推進機構副機構長を座長に「持続可能な地域開発のためのグローバル化推進」をテーマとして地域がそれぞれ持つ構想，地域開発計画や地域産業による環境に配慮したスマートテクノロジーの事例などの共有や意見交換が行われました。

産官学金連携セッションでは，「国際連携ジョイント・ディグリーを基軸とする地方創生」をテーマとして学術セッションで紹介された研究に関連した産官学金による諸活動の紹介及び情報共有が国内の産業界，行政，大学，金融関係者の間で行われました。

今回のシンポジウムは，メインシンポジウムが166名，学術セッションが81名，産官学金連携セッションが78名，のべ325名の参加者があり，大変有意義なシンポジウムとなりました。



メインシンポジウムの参加者

杉原千畝記念館 館長特別講演会 「在カウナス領事代理 杉原千畝に学ぶ」を開催

【概要】

令和3年5月31日(月)、本学にて、杉原千畝記念館 国枝大索館長をお招きし、特別講演会「杉原千畝に学ぶ」を開催しました。本講演会は、岐阜大学全学共通教育科目「異文化論（リトアニア学）」に関連して開催されたもので、学生が本科目を対面で受講している様子をZoom Webinarによりリアルタイムで配信しました。

講演会は、植松美彦岐阜大学グローバル推進機構長による挨拶及び毛利哲也工学部准教授によるリトアニア学の講義についての概要説明の後、国枝館長による講演があり、岐阜県八百津町出身で、在リトアニア・カウナス領事代理を務めた杉原千畝氏について、氏の領事代理在任時のユダヤ人を救うための行動を、当時の世界情勢と絡め詳細にご説明いただきました。

講演会には、受講生40名、オンライン参加者49名の計89名が参加し、熱心に講演を聞き入りました。受講学生からは、当時のリトアニアの政治的分断を初めて知った、杉原氏の勇気と行動力にあふれた人道支援に改めて感銘を受けた、といった感想が聞かれました。

本学は今後もリトアニアについて学ぶ機会を設け、同国への理解を深めていきます。



オンライン配信の様子



講演会場の様子

【メディア掲載】

掲載日	新聞社名	内容
2021/6/1	岐阜	命のビザ 広がり知って「千畝氏以外の領事も尽力」 岐阜大で記念館館長が講演 ～ 工学部1年 祖父江祐太さん ～
2021/6/1	中日	「命のビザ」千畝の緊急措置 当時の世界情勢踏まえ語る 岐阜大で記念館・国枝館長 ～ 工学部1年 祖父江祐太さん ～

2021サマースクール（受入）をオンラインで開講

【概要】

本学グローバル推進機構は、令和3年6月23日（水）から、サマースクール（受入）をオンラインで開講しました。ノーザンケンタッキー大学（アメリカ）、マレーシア国民大学（マレーシア）から合計5名の学生が参加し、これから7月7日（水）までの2週間、オンラインで日本語学習に励みます。

サマースクール（受入）は、本学の学術交流協定大学の学生を対象に毎年開講している留学生短期受入プログラムです。昨年度はCOVID-19の影響で中止となりましたが、今年度は通算33回目にして初めてのオンライン開催となります。サマースクール参加学生らは、日本語学習に加え、本学のボランティア学生と文化体験企画等で交流する中で、実際の日本語コミュニケーションにもチャレンジします。また、郡上八幡国際友好協会の協力のもと、郡上市立相生小学校の児童との交流や、郡上市の伝統的な街並みや郡上踊り、工芸品等を映像で紹介する伝統文化体験の時間も設けられています。

6月23日（水）は、開講式とガイダンス、4学部から参加したアシスタント学生による大学紹介を行いました。サマースクール参加学生らは、初日ならではの緊張感はあるものの、本学学生と交流する中で少しずつ表情が柔らかくなり、英語等を交えつつ積極的に日本語での会話に励みました。2週間という例年より短い期間の実施にはなりますが、実際の距離は遠く離れていても、オンラインでの交流を重ねる中で学生達の心の距離がより縮まることを期待しています。



ガイダンスの様子



開講式での記念撮影

ジョイント・ディグリープログラム 国際連携食品科学技術専攻（修士課程）の 第1期生（インド工科大学グワハティ校入学）が修了

【概要】

2021年7月16日（金）、岐阜大学・インド工科大学グワハティ校国際連携食品科学技術専攻（修士課程）のインド工科大学グワハティ校を主大学として入学した第1期生が国際共同学位を取得しました。

本専攻は、本学において2019年度にインド工科大学グワハティ校（IITG）及びマレーシア国民大学と共同で開設した4つの国際連携専攻(ジョイント・ディグリープログラム)の1つです。

学位伝達式はオンラインで執り行われ、本専攻1期生となるIITG入学の4名の修了生に学位記が授与されました。本学からは森脇久隆学長が祝辞のビデオメッセージを寄せられ、修了生たちが学位取得までに積み重ねてきた努力への賞賛とともに、将来の日印産業振興における修了生への期待を述べられました。

また、本卒業式の様子は現地新聞やオンラインニュースに多数取り上げられ、インドにおける本専攻の注目度の高さが窺えます。

तेईसवाँ दीक्षांत समारोह Twenty Third Convocation			
SEMESTER EXCHANGE/RESEARCH INTERNSHIPS WITH PARTNER UNIVERSITIES (OUTBOUND)			
Ms. Thongam Debika Devi	Energy	General Exchange Programme (GESR)	Kyoto University, Japan
Mr. Jishnu Choudhury	Civil	Summer Internship	Ecole Centrale de Nantes, France
Mr. Mayank Sharma	Chemical	International Joint Master Degree in Food Science & Technology	Gifu University, Japan
Mr. Sanjay Raghuvanshi	Chemical	International Joint Master Degree in Food Science & Technology	Gifu University, Japan
Mr. Rupesh Kumar	Chemical	International Joint Master Degree in Food Science & Technology	Gifu University, Japan
Ms. Priyanka Vilas Korgaonkar	Chemical	International Joint Master Degree in Food Science & Technology	Gifu University, Japan
Mr. Vinod Gajmer	Civil	Summer Internship	Carema Mediterranean, Aix-en-Provence, France

修了生4名の氏名が掲載されたスクリーン



森脇学長の祝辞